

8 日ロサケ・マス漁業交渉

北太平洋におけるサケ・マス漁業は、昭和 31 年(1956 年)の日ソ漁業条約に基づき、毎年、「日ロ漁業委員会」で決定された漁獲割当量に基づいて操業されていたところであります。

しかし、サケの母川国主義や海産哺乳動物の混獲などから、平成 4 年(1992 年)2 月にモスクワで開催されたサケ・マス資源の管理に関する 4 カ国会議(日本・米国・カナダ・ロシア)におきまして、「北太平洋における遡河性魚類の系群の保全のための条約」が調印され、これに基づき 1992 年からは公海におけるサケ・マス漁が禁止となり、小型船により日本 200 海里内の限られた海域で操業しています。

また、根室市では、ロシア 200 海里内で操業する日ロサケ・マス合弁事業の水揚げが昭和 63 年から始まっています。

(1) 平成 18 年(2006 年)の合意内容

① 日本 200 海里内の漁獲可能量等

ア. 水域別漁獲可能量 (単位:トン)

年次	太平洋側	日本海側	合計
平成 17 年	3,140	420	3,560
平成 18 年	3,140	200	3,340

イ. 魚種別漁獲可能量 (単位:トン)

区分	カラフトマス	シロザケ	ベニザケ	ギンザケ	マスノスケ	合計
平成 17 年	3,230	330	—	—	—	3,560
平成 18 年	3,010	330	—	—	—	3,340

ウ. 漁業協力費

ロシア側に支払う漁業協力費は、上限を 5 億円、下限を 4 億 4,500 万円とし、漁獲実績に応じて金額を確定する旨合意する。

エ. 出漁隻数 (単位:隻)

区分	根室漁協	歯舞漁協	落石漁協	湾中漁協	合計	北海道
平成 17 年	10	18	9	—	37	84
平成 18 年	10	18	8	—	36	92

■ 日ロサケ・マス漁業交渉における漁獲割当量及び漁業協力費の推移

昭和				平成			
年次	回次	割当量	協力費	年次	回次	割当量	協力費
昭和32年	1	120,000	—	昭和57年	26	42,500	40.0
昭和33年	2	110,000	—	昭和58年	27	42,500	42.5
昭和34年	3	85,000	—	昭和59年	28	40,000	42.5
昭和35年	4	67,500	—	昭和60年	29	37,600	42.5
昭和36年	5	65,000	—	昭和61年	30	24,500	35.0
昭和37年	6	115,000	—	昭和62年	31	24,500	37.0
昭和38年	7	120,000	—	昭和63年	32	17,668	33.5
昭和39年	8	110,000	—	平成元年	33	15,000	33.5
昭和40年	9	115,000	—	平成2年	34	11,000	31.5
昭和41年	10	96,000	—	平成3年	35	9,000	28.4
昭和42年	11	108,000	—	平成4年	36	2,819	4.4
昭和43年	12	93,000	—	平成5年	37	4,819	7.5
昭和44年	13	103,000	—	平成6年	38	4,819	7.5
昭和45年	14	90,000	—	平成7年	39	5,123	7.5
昭和46年	15	95,000	—	平成8年	40	5,123	7.5-6.9
昭和47年	16	87,000	—	平成9年	41	5,123	7.5-6.7
昭和48年	17	91,000	—	平成10年	42	5,123	7.5-6.7
昭和49年	18	83,000	—	平成11年	43	5,370	7.75-7.03
昭和50年	19	87,000	—	平成12年	44	5,920	8.59-7.03
昭和51年	20	80,000	—	平成13年	45	5,170	7.70-6.70
昭和52年	21	62,000	—	平成14年	46	4,100	6.10-5.25
昭和53年	22	42,500	17.6	平成15年	47	4,100	6.15-5.45
昭和54年	23	42,500	32.5	平成16年	48	3,660	5.48-4.88
昭和55年	24	42,500	37.5	平成17年	49	3,560	5.33-4.74
昭和56年	25	42,500	40.0	平成18年	50	3,340	5.00-4.45

(注)平成3年以前の数値は、公海分を含む。

[資料:根室市水産経済部調]

② ロシア 200 海里内の漁獲可能量等

ア. 漁獲割当量

(単位:トン)

年次	中型船				小型船	合計
	計	全鮭連	北友水産	ホクヨー	道鮭連	
平成 17 年	3,611	1,824	1,304	483	3,510	7,121
平成 18 年	3,450	690	1,610	1,150	5,220	8,670

イ. 水域・魚種別漁獲可能量(2006 年)

(単位:トン)

水域	魚種	合計	シロザケ	ベニサケ	その他※
1 区	中型	1,957	525	1,330	102
	小型	-	-	-	-
	計	1,957	525	1,330	102
2 区	中型	693	606	30	57
	小型	3,366	3,120	130	116
	計	4,059	3,726	160	168
3a 区	中型	800	297	450	53
	小型	1,854	693	1,050	111
	計	2,654	990	1,500	164
合計	中型	3,450	1,428	1,810	212
	小型	5,220	3,813	1,180	227
	計	8,670	5,241	2,990	439

※ その他 …… カラフトマス、ギンザケ、マスノスケ

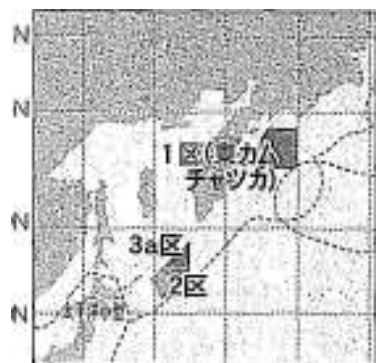
ウ. 有償入漁料

キロ単価 292 円 51 銭 (中型・小型船)

エ. 出漁隻数

44 隻 (中型船 15 隻(うち根室船籍 4 隻)
小型船 29 隻(うち根室船籍 15 隻))

(2) 日ロサケ・マス漁業交渉操業区域図



1 区 東カムチャッカ水域

2 区 南千島水域

3a 区 北千島水域